

やさかだより 11 No75

八坂地域づくり協議会

<http://www.shinshu-yasaka.com>

2019.11.1



11月号の記事

地域づくり協議会の活動から	2
地区活動	3
保育園・オフロードミーティング	4
八坂小・中学校	5
コミュニティ・スクール	6
ふれあい運動会	7
育てる会・公民館から	8
敬老会	9
きらり話題の八坂人	10

八坂地区ふれあい運動会は、気持ちの良い秋晴れに恵まれた9月14日(土)に開催しました。

地区内の皆さんをはじめ、小学校や保育園、山村留学関係者の皆さんなど約400人が参加し、熱戦が繰り広げられました。

公民館関係の種目は、8種目の競技が行われ、多くの方々から声援や歓声が上がり、賑やかな大会となりました。各自治振興会の結果は次のとおりとなりました。

令和元年度(第7回)

八坂地区ふれあい運動会結果

優勝 山村留学チーム

準優勝 大平自治振興会

第三位 舟場自治振興会

みなさんお疲れ様でした！

八坂地区の人口：831人

(男408人・女423人高齢化率36.3%)

八坂地区の世帯：360世帯

(令和元年10月1日現在)

地域づくり協議会の活動から

期 日	区 分	内 容 等
9/6	第3回地域振興検討会議	移住者交流会・ボランティア活動について
9/17	第3回やさかだより編集委員会	やさかだより 11月号編集会議
9/18	第2回地域づくり委員会 第2回自治振興会長会議 第3回地域振興部会	市民バスの運行について 自治組織の在り方・役員選出について 移住者交流会・体験ツアー等について
9/20	八坂夏まつり反省会	会計報告、問題点・改善点について
10/10	第4回八坂地域づくり協議会	・八坂文化祭について ・鳥獣害勉強会について ・明野太陽光事業経過状況について ・たい肥センター監視報告について ・地域振興部の事業・その他について
10/25	第4回地域振興部会	移住者交流会について

陳情活動

8月19日八坂地域づくり協議会では、過疎対策等に関する事項について、正副会長が陳情活動を行いました。そのうち、大町市長に対しての陳情内容は次の通りです。

1 過疎対策への取り組み

- ・定住促進住宅建設事業の継続
- ・有害鳥獣被害対策事業の継続・強化
- ・松枯れ対策の推進

2 市道の整備

(1) 道路改良

- ・一の瀬・切久保線
- ・相川・四辻線
- ・小菅・仲間線
- ・栃沢・上村線（国道入り口）

(2) 道路維持修繕

- ・小松尾線
- ・押の田・宮の尾線
- ・小菅・仲間線

(3) 道路排水路修繕

- ・矢下野平線

(4) ガードレール修繕

- ・矢下野平線
- ・押の田・宮の尾線
- ・一の瀬・切久保線
- ・舟場基幹センター付近
- ・相川・四辻線
- ・大塚・野平線

(5) カーブミラー設置

- ・大塚・野平線

(6) 日常管理

- ・相川・四辻線



大町市役所



犀川砂防事務所



長野国道事務所



大町建設事務所

野平地区 野平神社のお祭り

祭りが地域の氏神である野平神社の大
5月10日、5月6日にありまし
の日は天気が朝方から雨が降り始め
その後、晴れ、2日間は曇りがちな
境内の祭りが、2日間で雨は降らず
準備、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
出、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
まけ、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
減、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
国、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
社、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
年々、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
年々、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
供も、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
神楽、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
か、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
夜、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
ち、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
練、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
祭、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
演、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
団、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠
台、刈り入れ、舞子等の準備、灯籠



地区内外から大勢の、遠くは東京から
も、人が来まし。神楽保存会による、金
魚、すく、振舞い、酒等もあり、飲みな
ひら、たまに語り合、笑、あり、楽し
祭りと、二力所で行、獅子舞を奉納し、
引、子供たちも道中、獅子舞を奉納し、
に、子供たちも道中、獅子舞を奉納し、
職、子供たちも道中、獅子舞を奉納し、
令和元年野平神社大祭は無事終了しま
し、氏神様のお陰で怪我せず済んだ。
も、それは普通判りません。怪我して、
初め、この程度で済んで良かった。下
手、お陰さん、お疲れ様でした。
氏神様のお陰で怪我せず済んだ。
野平 佐藤 眞一

切久保地区 秋まつり

9月28日、29日に切久保
諏訪神社例大祭が行われまし
た。
28日は朝から氏子総出で
幟旗を揚げます。昨年は台風
の影響を考慮して、神社境内
のみの掲揚でしたが、今年は
4か所8本すべて立てること
ができ、お祭りの実感がわか
ります。
夜8時、開会とともに鏡割
りで宵祭りが始まります。保
育園児と小学生による、東京
2020応援ソング「パブリ
カ」のダンスが披露されまし
た。子どもが踊っている姿は
とてもかわいらしく、会場は
最初から盛り上がり、リハー
サル、本番と2回も踊って
くれました。



続いて元山村留学生の保護者
が、三味線の演奏をしてくれまし
た。津軽じょんがらなどは違っ
たので、お座敷などで演奏されるもの
という事で、普段聞くことのでき
ない、河東節、荻江節名取の奏でる
音色と歌声に魅了されました。その
後は、カラオケで、のど自慢たちが
歌とパフォーマンスで会場を沸か
せ、宵祭りのメインイベントの抽選
会では、当選番号の読み上げに、歓
喜の声と大きな溜息が響き渡り、盛
況のうちに1日目は終わりました。
29日は神事が行われ、五穀豊饒
の感謝と皆が幸せに暮らせるよう
祈りが捧げられました。また昨年ウ
ターンで帰郷した人が本年の獅子
舞の奉納をしました。以前にも練習
をしていたのですが、氏子の前で披
露すること無く、仕事の都合で地元
を離れてしまい、十数年越しの初め
の舞でした。
心配した雨もさほど降らず、楽しい
宵祭りになりました。

仁科伸一郎様より記事を寄稿い
ただきましたのでご紹介させていた
だきます。また、写真は切久保自治
振興会主事の阪井昭啓様よりいた
だきました。

切久保 谷林 圭介

第30回 八坂オフロードミーティングを終えて



八坂オフロードミーティング実行委員会
チーム YAMA 代表 田中照幸

八坂地区内、曾山から大塚に二本の林道がある事を存知でしようか。山菜採りや溪流釣り、あるいは古道トレッキングや石仏巡り等を通られた方もいるでしょう。この二本の林道と鷹狩山周辺の林業用作業道を使用し、一周25kmのコースを設定し、3時間内で3周する事を売走とし、その中で最速を競うオフロードバイクのレースを行っています。専門的な力テグリーといいますが、オープンエンドコースといいますが、モトクロス等閉鎖された会場で行うクロウズドレースに對し、自然の状態のままの地形や林道等を使い、長距離、長時間走る事を競うレースです。移動区間では一般道も使用する為、車両はあくまでナンバー付きの一般市販車ですが、近年国産のオフロードバイクは生産量が少なく、機種もかなり限定されています。その反面、



外車（特にヨーロッパ車）はメーカーも機種も豊富で、八坂のレースに参加する車両も過半は外車であったり国産車の逆輸入であったりと、とても高価なバイクが1000台近く並び、のびのびと走ります。バイクを運ぶ為のトラILERが数多く並びパドックの光景は八坂の夏の風物詩となつていふような、いろいろなレース運営に携わってくれて、多くの仲間を支えられて、何とか30回大会も一人の怪我人も出さず、今年も数台ありました。が、盛況の内に終わる事が出来ました。地区の皆様が、スタッフの皆さん、年々開催出来たら良いなと願いつつ、私もライディングの腕を上げるべく練習に励もうと思ひます。

たけのこ保育園

9月18日は、最後の草取り交流(計6回)でした。中央高砂会の皆さんと、草取りをした後保育園の畑のさつまいもを掘りました。5月に舟場シニアクラブの皆さんと植えたさつまいもが大きくなりました。少し時期が早いのもあって、小ぶりのお芋が多かったですが、中には立派なお芋もあり子どもたちは大歓声を上げて、収穫を喜びました。



ご協力いただいた老人クラブの皆様ありがとうございました。さつまいもは10月に、すこやか広場の皆さんとみさかのお年寄りと一緒にやきいも会を行いました。保育園のお芋をみんなで美味しくいただきました♪



八坂ふれあい運動会は、晴天の暑い日差しの中元気にできました！

保育園のリズムは、小学校のグラウンドに何度も練習に行きました。当日心を一つにがんばろう！と望んだところ、見事にバルーンの花火（ボールが上がるもの）が上がり、子どもたちも職員も感激しました。練習の成果を十分発揮できた良い運動会でした。応援ありがとうございました！！



八坂地区ふれあい運動会が、今年は秋晴れのもと実施できました。子どもたちも地域の方々の競技を観て、とても楽しんでいました。勿論、自分たちの競技・種目については、真剣に、できる限りの力を込めて参加していました。ただ、本年度の児童に大きな変化がみられたことにお気づきでしょうか。実は、練習段階で自分たちが創意工夫をしてよりよい競技にしていこうとする姿があったのです。リレーでは、休み時間を利用して子どもたちだけで練習を繰り返したり、順番や走る長さを検討し合ったりしていました。また、表現種目でも自らの姿を振り返り話し合いをすすめ、よりよい表現を模索していました。このように、与えられたことを発表する運動会から、子どもたち自身が考え作り上げていく運動会にすることができました。



八坂地区ふれあい運動会

それと八坂音頭です。この踊りは八坂地区全体で共有できる踊りです。以前は、多くの学校で地元の盆踊りなどを取り入れた種目があったのですが、それもだんだんと少なくなりまして、数えるほどしか残っていません。例えば、松川小学校の正調安曇節は、運動会の定番の種目で、連綿と継続されています。勿論、この八坂音頭も昭和 63 年昭和の合併・分村後 30 周年の記念事業の中でできたものであると伺っています。となると 30 年以上にわたり引き継がれたもので、八坂地域全体が共有できる踊りになっているのではないのでしょうか。さらに、今年は写真のように、例年以上に地域の方々がたくさん参加してくださいました。ありがたいことです。



第 43 回学習総合発表会 やまびこ祭

八坂中学校最大の生徒会行事『第 43 回学習総合発表会 やまびこ祭』(9 月 27 日・28 日)が開催されました。今年のやまびこ祭テーマは『Get Over ～壁を乗り越え、八坂で輝け～』です。

1 日目には、開祭式・やさかの時間の発表・立川市との交流報告・国語科意見発表・八坂カルタで交流、ふれあいタイム(体験講座)・ふれあい運動会(ドッジボール・障害物競走・パン食い競争)を行いました。2 日目には、表現運動(ダンス)・音楽会・閉祭式(エンディングセレモニー)が行われました。



3 年生のダンス

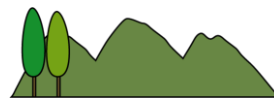


やさかの時間の発表 客観対策グループ



全校合唱 信じる

大勢の御来賓の皆様、学習や部活動でお世話になった皆様、高砂大学を始め地域の皆様、保護者の皆様に、これまでの学習や練習の成果を披露しました。今年は、やさかの時間で追究してきたことをポスター・セッション形式で発表しました。八坂の自然や文化の素晴らしさに気づき、自分の意見を堂々と発表できた姿に生徒の成長を感じました。



10月5日(金)中学校伝統行事のひとつ『そば刈り』が行われました。

毎年、育てている畑のできが今年は、例年より少なく悩んでいた所、仁科利夫さん(切久保在住)のご好意で仁科さんのそば畑の一部を刈らせていただく事になりました。学校支援ボランティアコーディネーターの勝野健一さん(切久保在住)にも協力していただき、無事にそば刈りを終えることができました。11月末から12月初めに学年毎に『そば打ち』が行われます。

そば打ちも楽しみですが、今年のそばの味は・・・きっと、おいしいそばですね！

第43回総合学習発表会『やまびこ祭』～ふれあいタイム～



9月27日(金)～28日(土)の2日間かけて『やまびこ祭』が行われました。今回は、27日(金)に行われた「ふれあいタイム」についてご紹介します。

『おやき作り』、『和菓子づくり』、『チャンスボール』、『竹細工』に子どもたち、保護者、先生方、学校支援ボランティアの方々が交じり、分かれてふれあいの時間を楽しみました。

『おやき作り』(学校支援ボランティア指導者 北澤三恵子さん、仁科幸知代さん、松島年子さん)は、なすのおやき等をホットプレートで焼き、待ち遠しい気持ちを抑えておいしくいただきました。『和菓子づくり』(学校支援ボランティア指導者(山留生OG保護者の金子剛さん、しげみさんご夫婦))は、ピンク色と緑色の色合い鮮やかないつまでも飾っておきたいような和菓子が出来上がりました！『チャンスボール』(学校支援ボランティア指導者 深澤勝敬さん)は、2チームに分かれて、時にむきになる姿も見え、熱戦を繰り広げていました。『竹細工』(学校支援ボランティア指導者 北澤豊繁さん)は、弓矢、竹とんぼ、竹箸を作成し、的に向かってみんな童心にかえり、笑顔いっぱい遊びを楽しみました。

ふれあいタイムの時間は、地域の方々と笑顔で触れ合い、技能と知恵をたくさん学ばせていただいた笑い声の絶えない貴重な楽しい時間となりました。



八坂地区ふれあい運動会





9月16日(月) 天気:曇り

今年は、例年になく稲刈り前の天気が良好で、稲の株間に大きなヒビが入るほど乾いた田んぼで稲刈りを行うことができました。センターの稲刈りは、全て手作業です。稲刈り・結束・はぜかけをみんなで協力して行いました。半分近くの子が稲刈り初体験で、「穂がずっしりしてる!」と、実りの喜びを感じながら作業をしました。時間が経つにつれて、手際も良くなってきている子が多かったですが、「これを何日も続けるのは辛すぎる!」と、農作業の大変さを味わいました。

収穫祭のお知らせ

日時:令和元年 11月16日(土)~17日(日)

場所:(公財)育てる会八坂美麻学園 山村留学センター

・11月16日(土)

午後1時~

個人体験発表・全体発表

(創作劇・太鼓・民舞)

・11月17日(日)

午前10時45分~

太鼓・民舞発表①

午前11時20分~

模擬店・バザーの開催

午後1時20分~

太鼓・民舞発表②・抽選会

子どもたちの個人体験発表



~昨年度の様子~



来場者でにぎわう山留センター前庭

個人体験発表では、大田市八坂美麻で生活する中で興味を持った「ここでしかできないこと」を、実際に自分で体験し、その成果について発表します。

全体発表では、今年はオリジナルの脚本で創作劇を披露します。29人全員で役者と裏方を分担します。劇中で太鼓や民舞の演奏もあります。模擬店は、学園生と保護者による色々な屋台

(たこ焼き、焼きそば、シュークリームなど)のほか、地域農家さんの物産の出店があります。今年も、学園生保護者の方々の持ち味を活かした楽しいブースもあります。また、バザーは、日頃お世話になっている地域の皆様に感謝の気持ちをこめて行うものです。日用品等お買い得品を用意しています。どなたも奮ってご参加ください。

第6回 高砂大学



10月8日に開催した第6回高砂大学は、38名の受講生の皆さんと糸魚川方面への郷土視察を行いました。

「フォッサマグナミュージアム」では、学芸員さんから日本の国石に認定されたヒスイや、糸魚川、静岡構造線を境とするフォッサマグナなどについて説明を受け、その後、館内で糸魚川原産のヒスイや、世界中の美しい鉱石、化石の展示を見学しました。

このほか、「長者ヶ原遺跡考古館」の見学や、「道の駅マリンドリーム能生」で海の幸などの買い物をしました。

当日は、あいにくの天候でしたが、日本列島の成り立ちと、海の香りを満喫する大変楽しい1日となりました。





祝 八坂地区敬老会



令和元年度八坂地区敬老会が、9月25日(水)明日香荘で開催され、今年度中に75歳以上となられる174人のうち、81人の皆さまがご出席されました。

式典では、米寿を迎えられた方のうち、ご出席いただいた吉原重忠さん、縣敏さん、勝野連さん、勝野一由さん、松井壽美さん、勝野初子さん、中村良幸さん、佐藤百合子さんの8名に、牛越大町市長からお祝い金、鳥屋実行委員長から記念品が贈られました。また、95歳と90歳の皆さまには、八坂小学校3年生、4年生の児童の皆さんからお祝いの花束が贈られました。

このほか、たけのこ保育園の園児の皆さん、小学校3年生、4年生の皆さん、八坂中学校吹奏楽部の皆さんのステージ発表やふれあい倶楽部の皆さんのアトラクションがあり、皆さんのご長寿をお祝いしました。

これからも健康に留意し、いつまでもお元気でお過ごしください。





今年の4月に大平集落に、古民家カフェ「大木葉（オーキーパー）」を本オープンしました。数年前から市の支援を受けて起業し、やっとカフェ部分のオープンとなりました。週の前半（月・火・水）はコミュニティカフェとして、後半（木・金・土）はカフェ&アンティーク（リサイクル）の店として営業しています。

コミュニティカフェは、地域の人々が気軽に訪れ、お茶したり交流したりできる場所を作りたいと思い、開設しました。現在は、八坂の折り紙クラブや、ヨガ教室、ママ達の子供服の交換会などの活動に使って頂いており、今後は囲碁将棋麻雀クラブや様々なワークショップや、寺小屋などの文化活動、そしてお茶のみサロンなどの利用を計画しています。

旧北澤家住宅・古民家カフェ 大木葉（オーキーパー）



毎週 木・金・土の3日間は、添加物不使用のカラダにやさしい食材を使ったカフェ営業をしています。今後は食事提供していきたいと思っています。

そして、コツコツと改修を続けてきたこの古民家が今年、国の登録有形文化財「旧北澤家住宅」として登録されました。まだ改修作業は続いています。が、来年には建物を公開し、八坂の皆さんに集まって頂ける素敵な場所にしたいと思っています。これから、どうぞよろしくお願いいたします。

江藤 憲史

江藤憲史様より記事を寄稿いただきましたのでご紹介させていただきます。

大平地区やさかだより編集委員
平林宏一



編集後記

昨年、残念ながら中止となってしまうた「ふれあい運動会」ですが、今年はいよいよ開催です。今年は好天に恵まれ、無事に開催されました。気持ちよく体を動かして、となれば良いのですが、私の場合、自身の体力の衰えを実感し、日ごろから健康管理をして体力の維持を心掛けることの大切さを痛感させられる一日となりました。自分が動けなくなった（動かなくなつた？）ぶん、スポーツ観戦には力が入ります。野球、サッカー、バレーボール、陸上など、大きなイベントなどもあり、大いに盛り上がりつつあります。開催中のラグビーW杯もその一つです。日頃、ラグビーという競技にそれほど注目していない自分ですが、熱い戦いを見てみると、ぐんぐん引き込まれて、夢中になって、観戦しています。まさに、ミスターハリーにわかファン全開ですが、実際、競技を見て心を動かされているのですから、こういう楽しみ方もあります。

皆さんも心に刺激を与え、スポーツ観戦を楽しみましょう。

石原地区編集委員

松下 憲夫